

「ネット」を利用が確実に増加 「会社の安定性」も大きな判断要因に～

当所が毎年実施している「新入社員意識調査」の15年度調査の概要をお知らせします。
対象は本年4月に地元企業の新入社員312名でいろいろとお尋ねしました。

就職情報の入手方法は？

「インターネット」利用が46%、

4年制大卒では73%

「学校」が68.6%とトップでほぼ前年並みの数字となりましたが、2位の「インターネット」は46.8%と昨年（14年度）の42.4%から増加しました。なかでも4年制大卒では73.6%が利用し定着しているようです。しかし「インターネットで必要な情報が得られたか」との質問に対しては「あった」の回答が50.7%と前回の67.8%から大きく減少しました。このことは必要とするニーズが、より複雑、多岐になってきている様子がうかがえます。

就職先決定の要因は？

「勤務地」が過半数、

そして「安定性」が39%に増加

上位は「勤務地」51.6%、「職種」46.5%となっており、前回と順位の変化は見られませんが、「職種」は昨年の50.0%から減少しました。そして「会社の安定性」は39.4%と前回の32.4%から増加し、「会社の将来性」も28.5%と昨年の26.6%から増加しました。現在の景気動向を反映して学生が慎重に企業を選定したことが想像されます。

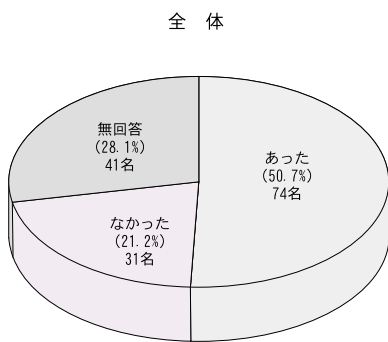
会社に取り入れて欲しい制度は？

上位は「長期休暇制度」「完全週休2日制度」と

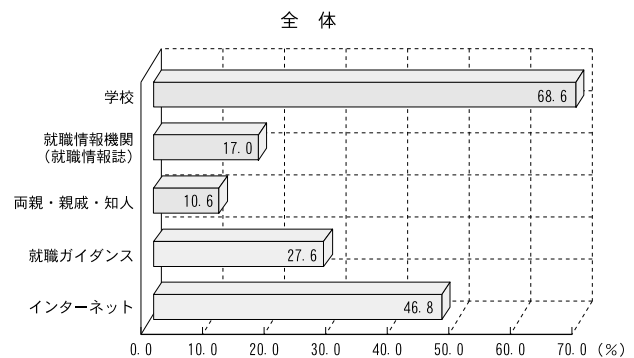
変わらないものの減少

トップは「長期休暇制度」33.3%で昨年の40.0%から減少、次いで「完全週休2日制度」26.3%と昨年の32.2%から減少しました。そして順位は低いものの「海外

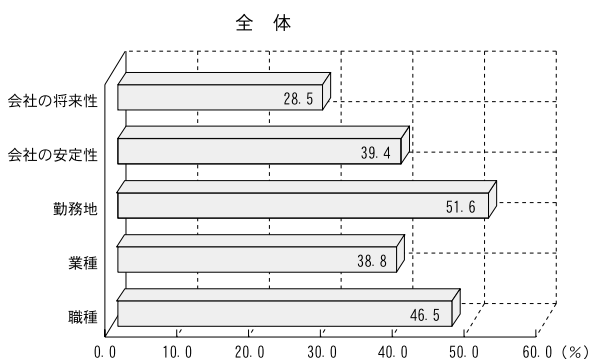
Q3 インターネットで就職活動時に必要と感じた情報はありましたか？



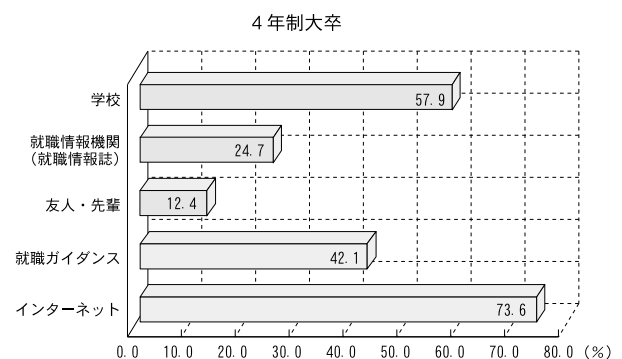
Q1 就職に関する情報は主にどこから得ましたか？（重複回答）



Q4 勤務先を決定する際に重視したことは何ですか？（重複回答）



Q2 大卒者の就職情報入手ツールは？（重複回答）



就職情報入手は「インタ ～就職先決定に

FaceData

調査実施主体 熊本商工会議所

調査目的 本調査は、企業繁栄の原動力となる新入社員の就職決定までのプロセスや新社会人としての意識等を調査し、労働環境や指導方法等の参考資料とすることを目的とする

調査期間 平成15年4月1日～同年4月5日

調査対象 当所が主催した平成15年度新入社員合同入社式・研修会の参加者及び熊本市内企業の新入社員（計58社331人に調査票を配布）

有効回答数 312人（有効回答率94.3%）

対象者内訳

	男性	女性	計
中学卒	0	1	1
高校卒	26	63	89
短大卒	3	11	14
専門学校卒	9	21	30
大学卒	85	93	178
計	123	189	312

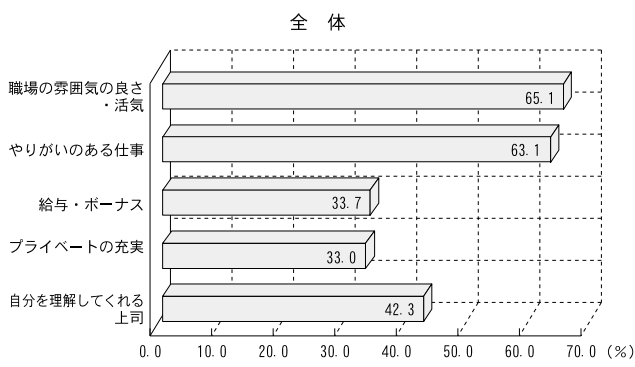
（本調査の詳細については、情報調査課までお問い合わせ下さい）

「いつまで勤務しますか？」
「わからない」が50%、「定年まで勤務」は21%
「わからない」が50%、「定年まで勤務」は21%
会社に「定年まで勤務しますか」の質問に対し、「定年まで勤務したい」の回答が21.8%で昨年の25.1%から減少。そして「わからない」の回答が50.0%で昨年の48.5%から増加し、ちょうど半数の数字となりました。「将来は独立したい」は9.0%で変化はなく、「他に良い仕事があれば転職する」は15.4%で昨年の14.4%から増加しました。

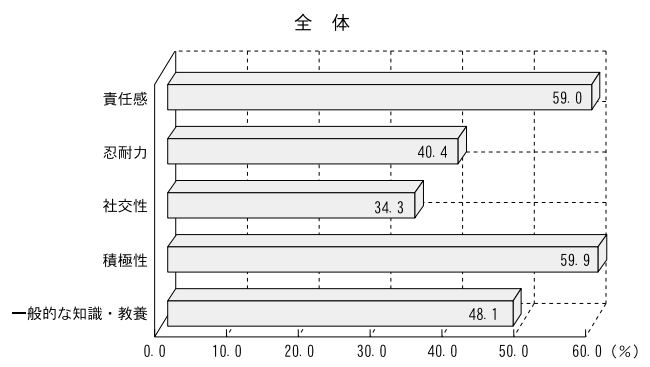
「いつまで勤務しますか？」
「わからない」が50%、「定年まで勤務」は21%
会社に「定年まで勤務しますか」の質問に対し、「定年まで勤務したい」の回答が21.8%で昨年の25.1%から減少。そして「わからない」の回答が50.0%で昨年の48.5%から増加し、ちょうど半数の数字となりました。「将来は独立したい」は9.0%で変化はなく、「他に良い仕事があれば転職する」は15.4%で昨年の14.4%から増加しました。

より現実的な傾向がでてきているようです。

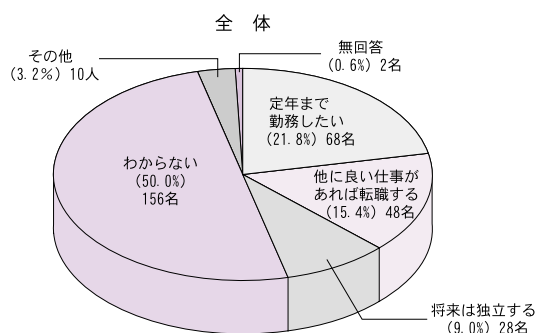
Q7 あなたにとってやる気をおこさせるものは何ですか？（重複回答）



Q5 就職するにあたって自分がもっと身につけなければならないものはどんなことですか？（重複回答）



Q8 入社する会社に定年まで勤務しますか？



Q6 入社する会社に取り入れて欲しい制度は何か？（重複回答）

